

平成29年度

石手川ダム水源地域ビジョン

活 動 報 告 書

石手川ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会

1. 会議等 開催状況

(1) 会議

- 平成29年 6月 5日 (月) 推進委員会 出席委員 10名
- 同 日 連絡協議会
- 第1回 地域・環境づくり部会 出席委員 21名

- 平成29年11月 9日 (木)
- 第2回 地域・環境づくり部会 出席委員 19名

(2) 実施事業

- 平成29年 6月10日 (土) カジカガエルの観察会
参加者 39名

- 平成29年 7月28日 (金) 自然と遊ぼうDAY!
参加者 90名

- 平成29年12月 2日 (土) 自然観察会&ダム見学会
参加者 24名

- 平成29年12月 3日 (日) 竹を使おうDAY!
参加者 33名

- 平成30年 2月16日 (金) 留学生友好の森づくり
参加者 101名

- 参加者 合計 287名

2. 検討内容

◎ 平成29年 6月 5日（月） 推進委員会での協議

大枠の方向性は、以下のとおり。

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

○ 継続課題として、引き続き、調査研究・検討等を行う。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

○ 水源地域の子供たちと留学生との交流の場として、好評であることから継続して実施する。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

○ モデル的に活動が続けている「水農里会」への支援とPR及び連携を図るとともに、イノシシ等による鳥獣被害の対策を進める。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

○ 石手川ダム周辺が、自然豊かな環境であることを市民に周知できる良い機会であるとともに、上・下流域の交流に寄与していることから、内容を十分に検討の上、継続実施する。

以上のような方向性に基づき、詳細な検討や事業の実施方法等は、連絡協議会に一任する。

また、予算についても、これまでどおりであるが、国等で実施している各種助成制度の活用については、事務局へ一任する。

◎ 平成29年 6月 5日（月） 推進連絡協議会での協議

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

- 竹を使う方策について、引き続き、有効策を検討していく。
- 本市における放置竹林の課題を市民に周知するため、両部会において、協力しながら、「竹を使おうDAY!」のイベントを継続して実施する。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

- 水源地域の子供たちと留学生との交流の場として、好評であることから今年度も引き続き、事業を実施する。
 - シカ等による鳥獣被害の対策を進める。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

- 「水農里会」の活動を、引き続き支援していくことによって、遊休農地の有効活用を図る。
 - 鳥獣被害対策については、農作物の被害防止のため、新たに防護柵を設置することにする。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

- 例年どおり、「自然観察会」や「自然と遊ぼうDAY!」を、継続して実施する。
- 開催回数や参加人数、内容の充実性について十分に検討する。

5. 不法投棄防止対策について（環境づくり部会）

- 引き続き、啓発活動を実施する。整然とした路肩の維持に努めるなど、必要に応じて、新たな具体的対策について検討する。

◎ 平成29年11月 9日（木） 推進連絡協議会での協議

1. 両部会に分かれての協議

● 環境づくり部会

- これまでの実施報告
 - カジカガエルの観察会 (6月10日 土曜日)
 - 自然と遊ぼうDAY! (7月28日 金曜日)
- 今後の実施予定について
 - オシドリをはじめ冬鳥の観察&ダム見学!!
実施予定日 (12月 2日 土曜日)
- その他
 - 日浦ホタル保存会の活動内容について

● 地域づくり部会

- 放置竹林対策や竹の有効活用について
 - 「竹を使おうDAY!」を実施する。
 - 昨年行った竹炭作りを、両部会で協力して行う。
 - 地元の方から昼食を提供していただく等 地元住民と協力して、下流域の住民と交流を図る。
- 留学生友好の森づくり事業について
 - 日浦小中学校の「日浦夢桜の森づくり事業」と合わせて開催する。
 - 昨年と同じ場所で、安全対策に十分配慮し、植樹活動を実施する。
 - 新たな植樹場所の確保等について、改めて検討していく。

2. 水農里会の活動について

- 引き続き、可能な範囲で支援・連携等を行い、遊休農地の有効活用を図る。